

## 令和4年9月 教育委員会定例会議事録

- |          |  |
|----------|--|
| 1. 日 時   | 令和4年9月29日(木) 午後1時00分開会<br>令和4年9月29日(木) 午後2時45分閉会   |
| 2. 件 名   | 河南町教育委員会定例会  |
| 3. 開催場所  | 河南町立中央公民館 3階 研修室   |
| 4. 出席委員  | 教 育 長                  中川 修<br>教育長職務代理者 西川 幹雄<br>委 員                      藤原 充<br>委 員                      高井 美恵子<br>委 員                      杉田 みはる   |
| 5. 事務局職員 | 教・育部長  湊 浩<br>教・育部副理事兼指導主事                      内山 裕生<br>教育課長  中海 幹男<br>こども1ばん課長                                  山田 恵<br>生涯まなぶ課長                                  森 弘樹<br>給食センター所長                               梅川 茂宏<br>教育課長補佐兼指導主事                       柏木 俊介 |

(審議内容)

教育長	<p>令和4年度も、もう早いもので今日明日で前半が終わりという、10月から後半に入る。これは早いと感じるか、いろんなことがあったなど感じるか、人それぞれだと思うのですが、まずはコロナのことが、毎回、毎回なのですけど、いろんなところにまだまだ影響を与えているし、まだまだ感染予防というものはしなくてははいけない。</p> <p>町の方でも、ご存知のように、4回目の接種、高齢者の方とか、対象を絞ったかたちの予定も、この間、9月23日で一応終了しました。延べ5,000人を超えるぐらいの接種された方と同時に、広報10月にチラシが入ったと思うのですが、今度また、オミクロン対応ワクチンの集団接種が10月の終わりぐらいから予定されています。</p> <p>まだまだワクチンに頼らないといけない部分もあるのですが、今日、ちらっとネットニュースとか見ていると、飲む治療薬の方も普及していけば、少しまた違うステージに入るのかなというふうに思うのですが、学校関係、それから公民館、こども園等も、今までやってきたことを引き続きやっていくというのが、この10月以降も必要と思っております。</p> <p>そこについては、子どもたちよくやっているな、先生たちもよくやっていたいているなという評価と、でも、それは口に出している人、出さない人、いろいろしているのですが、大変な思いをしながら続けているということも、我々、あるいは、子どもに接する周りの大人は、そのことを十分に知っておかなくてははいけないのかなということを改めて思っています。</p> <p>今年から校長になった後輩が、自分の教え子に町で声かけられて、立ち話になった。当然その子を覚えたのですが、「先生、あのときこんな言うたなあ」</p>
-----	--

	<p>という話があり、当然、覚えていることもいっぱいあるのですが、すべてがすべて覚えているかって言ったらそうではない部分がある。</p> <p>改めて自分は正直覚えてなかったけども、子どもの中にはずっと残っている。それはいいこともあれば、もしかしたら、そうではないこともあるかもしれません。</p> <p>そのときに、改めてその校長は、教師として子どもにかける言葉というのは大事に考えないといけないし、そして、いろんな思いがなくてはいけない。もっと言うと、愛情がなかったらいけない。それをこの9月号の学校だよりに書いていました。</p> <p>先生は当然、周りの大人も含めて、自分が発する言葉というものを丁寧に考えないといけないし、子どもにかける言葉というのは、どんな場面であっても、そこに愛情がなかったらいけない。</p> <p>そんなふうに改めて、自分の中でも思いました。</p> <p>今日、後半のスタートのところで、委員さんの皆さんともそういうことで、何か共有できればなと思っておりますので、どうぞよろしくお願いします。</p> <p>この後も、4番目の項目で生徒指導提要の改定中、そういう部分でも似たような話が出てくるとは思いますが、様々ありますので、本日もどうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>令和4年9月の教育委員会定例会を開催します。</p> <p>それでは、まず初めに、本日の定例会につきまして傍聴者はおられません。</p> <p>次に、本日の出席者は5名です。定足数を満たしていますことをご報告いたします。</p> <p>次に、会議録署名委員は、河南町教育委員会会議規則第17条の規定により、杉田委員に決定してよろしいでしょうか。</p>
委員全員	———異議なしの声あり———
教育長	<p>ご異議がないようですので、会議録署名委員は杉田委員に決定いたしました。</p> <p>それでは、議事を進めさせていただきまして、本日は、議案がありませんので、第2. 諸報告、その他について進めさせていただきます。</p> <p>まず一つ目。(1)「令和4年度大阪府小学生(すくすくウォッチ)の結果について」事務局の説明をお願いします。</p>
事務局	(1)「令和4年度大阪府小学生(すくすくウォッチ)の結果について」資料に基づき説明
教育長	<p>この件について何かご質問等ございますか。よろしいですか。</p> <p>では、次に(2)「令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について」事務局の説明をお願いします。</p>

事務局	(2)「令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について」 資料に基づき説明
教育長	本件について何かご質問ございませんか。
委員	いわゆる全国学力・学習状況調査についての2番の課題については、大阪府、 かなん桜、近つ飛鳥、町全体ということで、府に比べて高い水準になっています。 算数、理科に関しては、河南町小中学校の総合的な評価はどう評価されている のでしょうか。
事務局	国、算、理では、まだまだ課題が残っているのですが、今年に加配の中で小 学校英語専科というものがあまして、中学校に去年まで在籍していた者が、 かなん桜小学校を本務校としてかなん桜小学校と近つ飛鳥小学校両方で英語を 行ったわけです。 このメリットは何かというと、今まで2つの小学校で評価基準がバラバラで あったり、指導方法が統一できてなかった部分が、1人の教員が指導するとい うことで、機動性が図れるところがあります。今年、結果としてどんなふうに出 るかなと思いますので、それがうまいこといけば、今度はそれを例えば算数 などの学習においても、少人数担当とか町内の学力向上担当者会で共有を図る ことによって、それぞれの学力向上のために進めていければと思っています。
委員	分かりました。ありがとうございます。
教育長	他ございませんか。
委員	私もこれを見て、去年も同じような感じだったのかなって。河南町の学力テ ストに関しての取り組みが、もう少し改善していかないといけないかなって 思っていたのと同時に、今、事務局の方が言ったように、学習用語、これは点 数がよかった。それはすばらしいことやだと思ったのですが、反対に言っ たら、こういう知識面だけは覚えている。けど、深く考え、私も理科の問題っ てどのようなものかと思って見ていたのですが、自分から問題意識をもって予 想を立てて、結果をどう考察するかという授業をちゃんとしておかないと、理 科の面白さ、本来の学習への理解は進まないのかなあと感じていました。 私たちに出してくれる資料の中で、学習用語を授業改善に生かすというチョ イスしてくれたとは思いますが、算数とか見てみたら、プログラミングの 問題が出たり、今までとは違った問題がどんどん出てる。新しい学習指導要領 に沿った問題が出ている中で、そこに着目して結果をどんどん聞きたいと思 うし、指導主事という立場から、先生たちに指導するときにはこの学力調査の 問題と絡めて指導助言をすとか、先生たちの意識を、さっきのすくすくウォッ

	<p>ちもそうなのですけど、これやるだけで思考力がつくってさっき言ってたけど、日々の授業にどう生かすかというところを学力向上委員会で具体的に進めていけたらいい。</p> <p>なかなか学力が上がらないのはもちろんわかっているけど、子どもたちが1時間に授業を受けるそのモチベーションとか、楽しさとか、ポーっとずっと受け身で聞いている1時間を過ごさせるのか。ワクワクしながら1時間過ごさせるのかということ、熱く語って来て欲しいなというのが私の願い。遠いところからしか言えないから、そうやって、もちろん管理職なりその先生たちに直にそんな授業をして欲しいなって、届けて欲しいなと思いました。</p> <p>また、できたらこの学力調査の問題が欲しいなって、見てみたいなって。36枚、家でコピーするにはたいへんやけど、もしあるのであれば、見てみたいなって。</p>
教育長	それはありますか。
事務局	<p>問題ですか。問題は、言うていただければお渡ししますし、今のお話を聞いている間、現場に僕が指導助言に行く時なんか言うのは、その学力調査、いわゆる一般的にいう学テのために勉強するわけではないんやけども、学習指導要領の内容をしっかりと網羅した学習を行えば、結果として学調の結果もついてくるはずですよ。</p> <p>なので、そこがついてきてないってことに関してはおそらくどこかで、その授業のプロセスとかが間違っている部分があるのかもしれないということをお伝えしていたのと、あと、どこまで書くことが苦手という意識があるんやけど、それは学習指導要領に則る書くことなのか、それとも記述を指しているかということをもう一回校内でしっかりと研究をしてベクトルを揃えないと、今のままではいけませんよってことも、先日伝えてきたので、これからももっと具体的な例を現場に下ろしていきたいと思います。</p>
委員	ぜひ、楽しい授業を、わかる授業をしてあげてほしいなと思います。
教育長	ありがとうございます。
委員	<p>僕が委員にならしていただいたころですけども、中学校のレベルが高くて、その時お話ししたのは、学年によって差があるということ、おいといて、例えば、全国レベルでは、福井とか、秋田とか、最近では神奈川とか、都市部でも非常に上がってきている。</p> <p>毎年、同じ県がいいところにきてるといえるのは、目に見えない伝統というのか、学校の全体の雰囲気の中で、学習をする習慣とか、あるいは、ともに学び合うとか、みんなで高め合うという雰囲気ができているの違うかな。そうでなかったら、毎年、毎年、秋田とか福井とか石川とか上がってこないと思います。</p>

	<p>だから、全体の学校の雰囲気の中で、みんな頑張っってやろうというような雰囲気を醸成していただけたらいいなあという思いです。</p>
教育長	<p>他どうですか。</p>
委員	<p>この結果を受けて、次年度以降、各学校でどういう対策をしていくのであるとか、そういう指針というのが、どのタイミングでどこから出るものなのですか。</p> <p>毎年、広報紙で結果を見ているような気がするのですけれども。</p> <p>結果はそうやって出てくるけれども、それに対してどうしていくというのがあまりに目につかないと言いますか。</p> <p>でも、子どもの話を聞いていても、別に授業でこれがすごい変わったとかそんな話も見えてこないの、どういうタイミングで発表されるのでしょうか。</p>
事務局	<p>学力調査の概要とか大まかな分析に関しては、町のホームページに10月1日にアップする予定です。</p> <p>それ以降も各学校において、ホームページであったり、学校だよりであったりして、各学校が保護者に発信することを9月の校長会で確認していますので、そういったかたちで保護者の目に届くかなというふうに思います。</p>
委員	<p>お便りが出るのですか。</p>
事務局	<p>便りが出るというのは、これはもう学校の裁量になります。今現在このテストについて、各小中学校が考察をしております。</p> <p>何が問題であったか、何をすべきかというのは各学校から上がっております。</p> <p>公表については、あくまでもこのテストは競争を促すテストではありませんので、広報もご覧いただいた方についてはお分かりと思いますが、個別の学校名も挙げておりません。</p> <p>中学校は一中になりますので、この数字については表に出ておりません。</p> <p>ただ、学校としては分析をしてもらって、今後の授業の改善に向けてもらう。</p> <p>あとは各学校のそれぞれの運用に任せるかたちになるのですが、学校としては分析してもらって、教育委員会の方には出ております。事務局の方に出ています。</p> <p>あとはもう、学校がどういうふうに保護者に出すかは、それぞれ学校長判断になります。</p> <p>この今、一つ目のすくすくウォッチと全国学力について、個別の学校のそれぞれの結果の情報は、教育長初め、教育委員、この教育委員会と事務局一部の人間しかわからない情報になりますので、部外秘で取り扱いをお願いしたいなと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。</p>

教育長	今までも、どの学校も紙媒体でお届けたり、あるいは、ホームページにもアップはしているので、またご覧いただけたらと思います。
委員	ありがとうございます。
教育長	他、どうですか。よろしいですか。 では次、(3)「令和4年度から町立学校校内研究事業の視察について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(3)「令和4年度から町立学校校内研究事業の視察について」 資料に基づき説明
事務局	昨年度まで校長が出向いてプレゼンをするというのがあったのですが、学校の方も非常に業務が多忙になって、今回は現場に行ってもらって、実際に授業を見てもらいます。その中で感じたものを、毎年、教育委員会として学校園教育指針を教育委員会で定めていただくことになるのですが、見てもらって、河南町の教育はこうしていきたいといったものがあれば、次回のところ反映できるようにしたいと思います。今年度は、実際に教育委員の方に、現場見てもらうというようなかたちで行いたいと思いますので、日程を決めていただけたらなあと思います。
事務局	日程については、教育委員会と一緒にさせていただくことも1つの方法として決定させていただきたいと思います。
教育長	そしたら、この校内研究の視察について、他よろしいですか。 次に(4)「生徒指導提要(案)について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(4)「生徒指導提要(案)について」 資料に基づき説明
教育長	何かこの件についてご質問等はございますか。
委員	95ページには、3.5危機管理体制、その下に3.5.1で学校危機とは、96、97ページには、3.5.2に学校危機への介入という項目があります。 このページのことについて、一言、申し上げたいことがあります。 近年、特にこのコロナ禍、2019年から本当に世界に拡大したコロナの感染の対応をどうするかという国家間及び国内の体制問題について、最近、危機管理の緊急管理能力がないとか、リスクマネジメントの力が弱いとか、安全保障の問題でもよく言われるリスクマネジメント、クライシスマネジメント

という言葉をよく耳にします。

この部分は自分の仕事上で、ある意味、専門で44年取り組んできた中身ですので、危機管理というのは本当に奥の深い大切な問題なのですが、A4一枚の資料ですけれども、陥ってはいけない、非常に大切な部分であるのですよ。

もう45年間で仕事をしながら感じてきたことをまとめてみました。

特に、私たちが、いわゆる忘却とは、悪いことは確かに忘れていくことも一つかもしれませんが、決して忘れてはいけない事件というのは起こりました。もう皆さんも、当然、記憶には新しいと思いますけど。

あれから21年も、もう経っています。2001年の6月。これ本当にショッキングなニュースでしたけども、大阪教育大学附属池田小学校における児童殺傷事件における教訓と、私なりの危機管理体制の原則というものを考えてみました。

1 番目。命を奪われた8人の児童は即死ではなく、救命活動の遅れが死因による直結する失血死ということが後から発表されています。

そこで私は思いました。かっこ書き、これが危機リスクアナライズという部分です。危機の分析、及び、危機の対応という項目です。

もしあのときに、非常ベルなり、緊急事態通報などの手段で校内にいち早く事件発生を共有し、すべて襲われた教室の担任が、自らの携帯を保持していたならば、その場から急遽警察への事件通知をし、他の先生は、倒れた生徒の止血救護と避難誘導活動を組織的にできていれば、8人の命は救われた可能性があります。

2 番目。組織的な避難誘導、救助活動、搬送処置がなされず、人的被害を最小限に食い止めることができませんでした。

3 番目。2年南組に犯人が襲いかかり、次に犯人は、2年西側を襲うのですけれども、担任は廊下で倒れている児童を見たら、救護をせず、そのまま通報するために事務所に走り込んで110番通報。

その間、倒れた児童は約6分間放置され、警察への通報に警察は詳しい状況を得ようとしますので、その通報電話は8分を要しました。

さらに、警察が救急車要請をしたのは、その通報から5分経っています。

そこで大切なことは、危機管理対策は、現場ありきの現場最優先で行動しなければなりません。

よって、犯人を取り押さえる手段として、さすまた等の防護用具は、子どもたちが活動する現場では必需品であり、襲われたクラスの担任は大声で、隣のクラスへ緊急事態を伝え、犯人には少なくとも1人ではなく、複数名で立ち向かうことが重要です。

4 番目。犯人には1年南組の担任1人が、立ち向かい包丁で刺されていらっしやいます。

常に対策本部が機能するように立ち上げ、組織が作られますが、非常に複雑なのです。連携の組織が複雑なのです。

	<p>こういう危機管理に対しては、機能本部はシンプルがベストです。 不審者対応、一つの部門として児童をどうするか児童対応。 三つ目に、救助・救護活動、これを担う役割分担を明確にして、それぞれのセクションリーダーたちの相互連携と、誰から誰に緊急事態の伝達をするか。この手順を日常より訓練しないと、当日事件に起こったときは、おそらく組織ができ、こういう指導体制ができておっても、活動するパーセンテージとしては3割、4割動くかどうかということです。 非常事態、災害は、起こらないではなく、起こるという認識を常に抱くことが最重要であり、慣れてしまうほど危険なことではない。 この事実を肝に銘じなければ、幾ら危機管理対策を打って訓練をしても、劣化していくということを僕は44年間、身をもって感じています。 ですからこの、子どもたちを守る、学校を守るというページの67、68に関しては、教育委員の皆さん、幹部職員の皆さんには、ぜひぜひ、私の思いとか共有情報を共有していただければありがたいなと思います。</p>
教育長	<p>ありがとうございます。 これさっき、事務局からもありましたが、12年ぶりの改定ということで、当然、その一つの部分に着目して見ていただいたのですが、この学校危機というのは、当然、各学校、こども園も含めて、避難訓練は必ずしています。 その中で、町内でも過去いろんなことがありましたので、言っていたいていることについては、その都度盛り込んで実施もやっていたいてるところでもあります。 だけど、改めて、こういう形で言うていただいたということで、しっかり共有していきたいと、私は感じさせていただきました。</p>
委員	<p>子どもたちの活動時、必ずリスクというのはあるのです。で、あまりにもそのリスクを表に出してしまうと、活動が制御されたり、ものすごく抑えられ、よく子どもたちで、何かゲームするとき、ドッジボールするとき、怪我したらどうするのですかとか。マイナスイメージで、話をする構構あるのですよ。そんなことが出てきたら、もうドッジボールやめよかということになってしまうのです。子どもたちの話し合いの中でも。 でも、怪我しないためにはどうしたらいいとか、あるいは、もしもしたときはどうしたらいいかを、子どもたちと話し合いをする。 遠足でも何でもそうなのですが、気になるのが、リスクはとても大切なことなのですが、子どもたちの活動には必ずリスクが伴うという前提のもとで、それをもしもの時にはどうするかということさえ、リスクマネジメントさえしっかりしてたら、子どもたちの活動を広げることができると思うのです。 だから、子どもたちの活動が抑えられないように、これは十分に配慮してやっていただきたいなと思います。</p>



<p>教育長</p>	<p>今まさにコロナの中で、それが学校現場で実践されているのかなど。状況に合わせた形でどこまで何ができるのか。まあ、その場その場、その時その時にできることを精一杯考えて、精一杯やっていく。</p> <p>「制限があるから駄目だ」ではなく、その中でできることという意味合いでは、このコロナの中で、1年目と2年目と3年目と対応変わってきている。</p> <p>それは、冒頭でも申し上げたように、今後、どうコロナとつき合っていくかってことはまだまだ続いていくとは思っているので、その視点は、今、両委員さんおっしゃっていただいたことは十分学校に伝えていきたいと思います。</p> <p>他どうですか。</p>
<p>委員</p>	<p>不登校のところが気になったから読んだのですが、ICT を活用した支援というのが 228 ページに出ていて、これからはいろんな学びの形態というのが理解されていないといけない時代かなと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>藤井寺など、コロナでお休みする子は、もうオンライン授業をいよいよ10月から開始すると聞くと、不登校の子どもたちにとって、そういう機会もあるよという、教育の機会を保障するというのに役に立っているのか、河南町としてもどうしていくのかというのが議論として上がってきたらいいなと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>今、河南町の実態はどうですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>教育機会確保法というのができていますが、不登校児童生徒に対してどのような支援をしていくのかということで、本町も、平成29年に教育支援センター、通称ほこすぎルームを開設しています。</p> <p>いろんな事情によって不登校になっておりますので、その中に個々にあった対応が必要になってきます。</p> <p>コロナでどうしても来れなくなった場合、中学校も、小学校も希望制ですが、端末を持って帰らせて、一方的になりますけども、オンライン授業、ライブ中継みたいな感じでやっているのが現状であります。</p> <p>令和3年度は試行錯誤の中でスタートした。今年度、新しくデジタル教材を入れましたが、これもまだ過渡期ですので、これらを含めて、今、希望制でやっている学校でも見えにくい部分があります。</p> <p>本町も、各小学校、できることをやっていくかたちで、今やってるとというのが現状になります。</p> <p>特に中学校は進路に影響してくるので、校長筆頭に、どうぞやってくださいというかたちで案内出させていただいています。小学校は希望制のようなかたちで様子を見ながら子どもさんに合ったかたちで今進めているのが現状です。</p>

委員	<p>不登校はとても気になるテーマです。</p> <p>一番考えなければならないのは、小学校で今、全国で約1万2、3千人の不登校児童がいて、中学校になれば3万人ぐらい、中学校で3倍になる。確かに精神的な面とかいろんところで、小学校の時から集団に馴染めないとか、そういう子どもさんがおられてというのは、それよく分かるのですが、小学校まである程度来て、中学校になってその3倍になることがものすごく気になる。</p> <p>だから、中学校だけの責任じゃなしに、中学校に上がる時に、何かギャップがあるのか、あるいは、精神的な発達な面とかいうことも含めて、学力向上も大事なんだけど、どうしてその小から中になる時に、不登校児童が3倍になっているということを考えていかなければならない。</p>
事務局	<p>委員もおっしゃるように、明らかに小6から中1の段階が増えているところなのです。それが中1ギャップと言われたり、最近よく言われているのが、とにかく新規で生み出さない。</p> <p>新規でその途中の学年で生み出さないようなかたちでやっていこうという取り組みのもとに、具体的にどういうことするかというと、学校協議会でも、スクールソーシャルワーカーとかスクールカウンセラーの小学校配置とかも順番で受けてという部分で、とにかくそういった複数で対応してアセスメントしていくというかたちで、見ていくというところがあるので、単なる数だけじゃなくて、その数の要因を探っていくというかたちで進めているところです。</p>
委員	<p>僕が経験した中で、小学校の時に普通に生活していて、中学校になった時に何の問題もないのだけど、突然、引きこもりになった。</p> <p>要するに、中学校の生活に馴染めない。</p> <p>別にいじめられているわけでも何でもない。</p> <p>けども、引きこもりになる子どもの対応で、相当苦労したことがあって、もう本当に先生だけじゃなしに、地域の青少年指導員さんをお願いして、いろんな活動に参加するようとか、そういうことで関わったこともある。</p> <p>特に、引きこもりというのが、気になった一つの中身なのです。</p> <p>だから、その辺のことも含めて、特に子どもに関わって我々は、考えていく必要がある。</p>
教育長	<p>次に（５）「第20回秋の文化祭展及び第26回子ども科学賞典、及び、読書感想文コンクールについて」この説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（５）「第20回秋の文化祭展及び第26回子ども科学賞典、及び、読書感想文コンクールについて」資料に基づき説明</p>
教育長	<p>この件については、特によろしいですか。次に（６）「令和4年度、南河内地</p>

事務局	<p>区市町村教育委員会研修会」について説明をお願いします。</p> <p>南河内の市町村教育委員会連絡協議会は、今年度、富田林と河南町が幹事に当たっております。</p> <p>組み合わせとしては、市が6、町村が3あって、町村については市とペアで3年に1回幹事に当たります。</p> <p>11月17日、午後2時スタートで、約60分から90分間で大教大の先生に講義をしていただいて、遅くとも午後3時半に終わります。</p> <p>終わってからは、近つ飛鳥博物館の方で、秋の特別展がこの時期、開催されております。</p> <p>第2部の方につきましては、近つ飛鳥博物館の方で秋の特別展を南河内の教育委員さん、教育長含めて約50名の方に行っていただいて、特別展を見てもらいます。</p>
教育長	<p>この件はよろしいですか。また、詳細わかりましたらご連絡をさせていただきます。</p> <p>(7) その他について何かありますか。</p>
委員	<p>河南町、バスをすごく使って、いろんな対策はされると思うのですが、何か私が昼間テレビ見ていたら、教えてクラクション鳴らす練習させたりとか、そこはもう対応が早い。河南町もそんなぐらいのことをやっているのかなって。、確認だけしていきたいなと思います。</p>
事務局	<p>乗り降りする時の点検では、今までは口頭のみでやっていたのをちゃんと紙に書いて、もう一度改めて乗ったとき、降りるときということで、教員が子どもを全員降ろしたら、もう一度最後、座席後ろまで行ってもう一回点検する。</p> <p>運転手がもう一度降りるときに点検するって、そういうのは、今徹底して確認はやっていますが、子どもたちのそのクラクションまでをやっているかどうか、まだ確認はできてないのですが。ただ、教員と運転手で確認するというのは徹底しています。</p>
事務局	<p>中村こども園については、運転手と教員が載っていますので、その確認ができています。</p>
委員	<p>私もあの事件の後すぐ子どもに、どうしたら脱出できると思うかって聞きました。</p> <p>中学生でもクラクション鳴らすという頭がないのですよ。鳴らしやというのをニュースで見て、それを今日、子どもに伝えました。</p> <p>子どもが自分で自分の身を守るというのはすごい大事な事だと思うので。そこで子どもに何か指導があるのはいいのかなって私も思います。</p>

教育長	<p>そうですね。校園側から確認もさせていただいていますし、委員が直にお子さんにやっただけしているようなことが、大事な命を守るためという意味合いで、関わる大人も、みんなが意識することかなと思っています。</p>
委員	<p>今も、世相を反映した話だったのですが、一つだけ気になることで、ここ2年ほどコロナで、何か世の中が非常に失速しているとか、またウクライナの問題が出て、原油が高くなったりとか、あるいは、原材料が高くなったりとかいうことで、ものすごく物価が上がっている。</p> <p>子どもたちの給食のことで、この物価高で随分苦労されていると思うのですが、今、その子どもたちにその影響があるのかないのか。あるいは、こんな工夫しているとかいうのがあれば教えていただけたらなと思います。</p>
事務局	<p>今現在、小・中学校の学校給食については、今年度無償化を実施しておりますので、保護者負担はないのですが、原油価格の高騰や食材の高騰の影響で、去年の給食1食あたりに比べまして、今年度、上昇はしております。</p> <p>今現在、学校給食センターでは、学校給食の摂取基準が定められておりますので、そのカロリーは確保しつつ、献立のメニュー、例えば、牛肉であるところを豚肉に振り替えるとか、高い魚のところを安い魚に変えていくとか、いろんな工夫をしながら価格を抑えて、カロリーを保ちながら進めておるのですが、国でもいわれているように10月以降、まだ価格上昇とかいう話も出てきておりますので、そうなりますと、今のメニューを変えるだけでは到底追いつかないというか、アレルギー確保できないという現状も出てきますので、そういった場合、今の予算だけで当然不足することも考えられますので、増額の方法も検討していかなくちゃならないかな、というふうには考えております。</p>
教育長	<p>実質、保護者さんの負担は、ご存知のように、今年については、無償というかたちですが、仕入れてやっているのですその部分では、増額というのは、今後ないとは絶対言い切れないような状況にはなってきています。</p>
教育長	<p>こども園はどうですか。</p>
事務局	<p>こども園も同じようなかたちで、見積もりをとりまして、安い食材とか、安い業者さんを選びながらやっています。</p> <p>こども園も、一応、保護者さんから副食費は、こちらが補助するかたちで、実質、負担はしてもらっていない。今のところ1食あたりにかかる費用は抑えられているので、今後は様子を見ないといけないのですが、今のところは何とかやりくりをしてもらっています。</p>
委員	<p>よくあるパターンで、値段を上げないけども量が減っていると心配される</p>

	方がおられるかもしれない。
事務局	他所の市町村でも、確かに量を減らしたりとか、一品を減らしたりとかいう話も聞くのですけども、そうすると、必要なエネルギーが絶対確保できませんので、河南町は現状を確保しつつ、もう進めていかなきゃいけないかなというふうには考えております。
委員	ありがとうございます。
教育長	他、よろしいですか。
委員	<p>先日、9月の話なのですけど、サンデーコンサートに行かせていただいて、中学生と直接繋がりのない住民さんといいますか、そういう方もたくさんいらっしゃるみたいで、満員で、すごくいい時間でした。</p> <p>いろいろイレギュラーなことがたくさんある中で、開催していただけたことが、保護者としてもうれしかったので、ありがとうございます。</p> <p>でも、その続きで、また昨日、中学校の方で運動会がありまして、それも見せていただいたのですけれども、当初、その1家庭に1人という、その観覧できる人数ということであつたりとかでいろいろ思ったこともあったのですけれども、結局は雨で流れて、実際来る人が少なかったからというものもあるのかなと思うのですけど、そんな超満員ということもなくても、来られてる方はたくさんいらっしゃるだったので、すごく関心も高いのかなあと見ていました。</p> <p>私は保護者なので、そのあと、かなん桜小学校も、実は、授業参観もあつたので、そのまま中学校から小学校を見せていただいて、自分の我が子のクラスはもちろんですけども、その友達であつたり、自分の仕事関係で関わりのある子どもさんのクラスを見せていただいてきました。</p> <p>私が保護者だからというのは、先ほどの話とリンクするのですけれども、みんな河南町の子どもであることは変わりなく、私たちは河南町の大人であるので、それこそ西川委員も高井委員も一緒に行けたら楽しいという気持ちで私は歩いておりまして、いい意味でフラットになって行けたらいいのかなってすごく感じています。</p> <p>学校の中での様子も、その、学校といえば1クラスに子どもさんたくさんいるのだなというのが正直なところでしたけれども、先生方も子どもたちも、すごく頑張って楽しんで、学校生活を送っているのだなというのはよく分かったので、実際にいる場所に行くという、もちろんコロナのことやら立場のことやらいろいろあるのかなと思うのですけど、そういうことがどんどん風通しがよくなるといいのになあと考えています。</p>
委員	サンデーコンサート、僕も毎回行っているのですけども、今年、今までなかった分だけ感動したからよかったですよ。

事務局	何か録画撮っておられますか。
委員	常時は撮ってはいません。
教育長	<p>そうですか。でも、本当によかったです。</p> <p>そうしましたら、その他案件を終えた上で事務局から何もないですか。委員さんからもよろしいですか。</p> <p>ないようですので、そうしましたら、以上をもちまして、本日の議事日程はすべて議了いたしました。</p> <p>これをもちまして、9月の教育委員会定例会を閉会いたします。</p> <p>次回、令和4年10月27日午後2時からの開催といたしますので、よろしくをお願いします。本日はご苦労さまでした。ありがとうございました。</p>

令和 年 月 日

教育長名

署名委員名